

別記第1

様式第5

令和3年6月10日

令和2年度の主な事業報告

社会福祉法人 東康会

社会福祉事業

事業報告書一式別添

公益事業

事業報告書一式別添

収益事業

無し

令和2年度事業報告書

当期における当会の運営については、菊池市から移譲された「特別養護老人ホームつまごめ荘」の運営を軌道に乗せることが、最大の課題であった。現状をそのまま引き継いでおり、従業員の確保については菊池市の従来のスタッフを派遣してもらい3年間で直接雇用者との入替を計画し、新規採用者の確保に努めた。併せて、外国からの技能実習生を年度末に確保でき、介護スタッフの今後の受け入れ態勢を整えることができた。

又、当期の事業活動については、当期事業計画の基本方針に沿って遂行しましたが、特に不二の里において、授業者の不足補充が確保できず慢性的なスタッフ不足が影響し入居者が定員29名に対し16名程度で推移し、収益改善が未達でマイナスの解消されなかった。らぼーる八代においては、利用者確保がままならずこちらも給付費収益が大幅減となった。減少額が大きすぎて、法人全体でもカバーできず、赤字計上となった。

I-1 【法人全体の事業活動状況】

(単位:千円)

	前年度 実績 ①	令和2年度 実績 ②	増減②-① 対前年度	令和2年度 補正予算③	増減②-③ 対補正予算
サービス活動増減の部					
収益	629,595	1,143,575	513,980	1,135,860	7,715
費用	649,817	1,140,029	490,212	1,134,050	5,979
サービス活動増減差額	▲ 20,222	3,546	23,768	1,810	1,736
サービス活動外増減の部					
収益	7,418	7,759	341	7,209	550
費用	16,571	54,685	38,114	13,909	40,776
サービス活動外増減差額	▲ 9,153	▲ 46,926	▲ 37,773	▲ 6,700	▲ 40,226
経常増減差額	▲ 29,375	▲ 43,380	▲ 14,005	▲ 4,890	▲ 38,490
特別増減の部					
収益	84,966	14,634	▲ 70,332	6,480	8,154
費用	83,535	14,329	▲ 69,206	6,330	7,999
特別増減差額	1,431	305	▲ 1,126	150	155
当期活動増減差額	▲ 27,944	▲ 43,075	▲ 15,131	▲ 4,740	▲ 38,335
前期繰越活動増減差額	76,593	48,649	▲ 27,944	48,649	0
次期繰越活動増減差額	48,649	5,574	▲ 43,075	43,909	▲ 38,335

補足)決算書ではサービス及び拠点区分取引が消去されていますが当期活動増減差額は同額です。

(介護・訓練等給付費収益、委託費明細)

(単位:千円)

区分	事業所名	前年度①	R2年度②	増減③=②-①	R2年度構成比
社会福祉事業	ねんりん	66,981	65,596	▲ 1,385	7.5%
	障がい福祉				
	グループホームみすみ	25,059	23,946	▲ 1,113	2.8%
	グループホームともに	33,890	32,711	▲ 1,179	3.8%
	多機能型就労移行支援らぼーる宇城	62,309	70,350	8,041	8.1%
	多機能型就労・生活支援センターらぼーる八代	66,413	61,681	▲ 4,732	7.1%
	計	254,652	254,284	▲ 368	29.2%
	老人福祉				
	特別養護老人ホーム 不二の里	62,056	60,242	▲ 1,814	6.9%
	特別養護老人ホーム つまごめ荘		526,966	526,966	60.6%
計	62,056	587,208	525,152	67.5%	
小計	316,708	841,492	524,784	96.7%	
公益事業	就業・生活支援センター結(就業)	19,720	19,416	▲ 304	
	就業・生活支援センター結(生活)	5,847	9,289	3,442	
	計	25,567	28,705	3,138	3.3%
総合計	342,275	870,197	527,922	100.0%	

I-2 【法人について】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、収益は各事業所からの繰入金とし必要経費に充当し、当期活動増減差額は 1,355千円となった。

2. 当期における理事・監事及び評議員の体制

理事（任期：令和元年6月29日から選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

	氏名	役職	備考
1	山田純策	理事	理事長
2	山田健二	理事	
3	東家隆典	理事	
4	水野浩章	理事	
5	安武和義	理事	
6	篠崎尚子	理事	
7	岡村光洋	監事	
8	吉永賢一郎	監事	

評議員（任期：平成29年4月1日から選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

	氏名	役職	備考
1	溝見友一	評議員	
2	立山正道	評議員	
3	守田健一	評議員	
4	萩原直樹	評議員	
5	守田憲史	評議員	令和3年3月31日辞任
6	稲村昌三	評議員	
7	橋本隆一	評議員	
8	邑上春美	評議員	

3. 今後の課題

今後の対処すべき重要事項を下記の4項目とする。

- (1) 全体管理における本部と事業所間との円滑化及び本部設置場所の検討
- (2) 利用者の事業所利用率安定化による収支確保
- (3) 特別養護老人ホームのスタッフの定着及びスキルアップ
- (4) 全事業所における、従業員確保の検討(外国人スタッフも含めて)

以上

I-3 【ねんりんについて】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、アイカ工業(株)のメラミン加工収益は対前年度比ほぼ同等となり、対当初計画比522千円減ではあるものの170,668千円となった。鉄筋加工収益については、対当初計画比4,477千円減の16,523千円となった。当期活動増減差額は、当初計画に大きく及ばないものの、4,501千円を確保した。

2. 運営管理

当期における「ねんりん」の継続的な運営管理として、利益体質の確立を目標に原価の低減、生産効率の向上に取り組んだ。その中で職員は勿論のこと、利用者においても不良率の低減等に細心の注意を払うように努めた。

今後の生産活動においても、一層の「コストダウン」、「効率」、「スピード」が要求されることから、職員、利用者全員がコスト意識と連帯感をもって対処する所存です。

(1) 利用者

当期は、利用者の多能化を目的とし、通常の持ち場以外の工程も経験させ個々のスキルアップに取り組んだ。

(2) 職員

当期も、引き続き生産効率化及び多能化を推進し、資格取得及びリスクアセスメント等労働基準監督署からの指導に基づく労働安全衛生に関する改善を実施した。

3. 職員及び利用者の増減

①利用者

新規採用者	人数	退職者	人数
男性	1名	男性	無し
女性	1名	定員 40名、期末日現在の現員 40名	

②職員

新規採用者	人数	退職者	人数
男性	2名	男性	4名
女性	無し	女性	1名

4. 地域福祉

前年度同様、「ねんりん」が機能していく為には、地域社会との密接な協力・連携が必要とされることから、以下の項目について留意した。

- (1) 利用者等に対し地域社会に積極的に参加を促し、地域社会への関心を高め、社会共生を図っていくための視点をもつこと。
- (2) 一般住民に対し開かれた社会福祉施設であるという視点をもつこと。
- (3) 地域の人々にねんりん、利用者をより理解してもらうこと。

5. 社会福祉関係機関及び保護者との連携について

利用者へのサービス提供につきましては、行政機関及び社会福祉施設等と

連携をとりながら、利用者本人にとっての最善の対応を考慮し対応致した。保護者との連携につきましては、定例保護者会を3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら昨年度に引続き開催を見合わせた。

6. 今後の課題

今後の対応すべき重要事項を下記の5項目とし、就労継続支援事業における仕事量の確保に努める。

- (1) 職員及び利用者の多能化を図り、自主的な応援・協力体制の確立。
- (2) 直接、間接業務の見直しを図り、生産の効率化とコストダウンの徹底。
特に不良率の低減を重視する。
- (3) 労働安全衛生に関し不十分な事項の改善を実施し、より安全な労働環境整備に努める。
- (4) 障害福祉サービス事業所としての「質の高いサービス提供」を、職員に徹底させる。
- (5) 新型コロナウイルス対策を徹底し、感染防止を図る。

以上

I-4 【 グループホームみすみについて 】

1. 事業活動状況

訓練等給付費収益は当初計画とほぼ同額の20,086千円となりましたが、当期活動増減差額は、経費がかさみ当初計画を下回り803千円となった。

2. 運営管理

令和2年度からは、新規に開設された「しおさい及びゆうなぎ(定員各6名)」、既存の「こちょうえん」、「ぱあ〜る」と、更にサテライトを1名追加し、定員は33名となった。

それぞれのグループホームの運営については、世話人を中心に、利用者の意見を取り入れながら、オリジナリティーのあるグループホームを目指した。

利用者一人ひとりが自立を目指し、地域と共同した日常生活を営むことができるように、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、食事の提供、相談、その他日常生活上の支援を行なった。

利用者の余暇活動としては、例年であれば他事業所のグループホームとの交流行事に参加して親睦を図ったりしていたが、新型コロナウイルス感染防止対策から、いつもの行事が自粛され寂しい年度となった。

(グループホームみすみ 令和3年3月31日現在)

名 称	利用者定員	現員	管理者	サービス管理責任者	世話人氏名
グループホームしおさい	6名	6名	山田健二	浅田紳路	徳本るり子
グループホームゆうなぎ	6名	6名		宮田義也	有働由美子
サテライト	1名	1名			(しおさい担当より)
グループホームこちょうえん	14名	13名			木村さゆり
グループホームぱあ〜る	6名	6名			波野初美
				(代替者)	西田 愛
				中田道子	
				宮島照美	
合 計)	33名	32名			(計7名)

以上

I-5 【グループホームともに について】

1. 事業活動状況

訓練等給付費収益は当初計画に対し709千円減の32,711千円となり、当期活動増減差額は、当初計画を下回りましたが640千円を確保出来ました。

2. 運営管理

事業開始年度は次の基本方針を策定し運営いたしました。

(1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供

①利用者の人権尊重の徹底に努める。

②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。

(2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指す。

(3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指す。

(4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指す。

(5) 継続的なサービス提供の維持拡大に努める。

(グループホームともに 令和3年3月31日現在)

名 称	利用者定員	現員	管理者	サービス管理責任者	世話人
グループホームまいふれんど	6名	6名	山田健二	篠崎尚子	6人/日稼働 計19名
グループホームまいはあ〜と	6名	6名		前田崇史	
グループホームまいどり〜む	6名	6名			
はっぴい〜はうす	6名	6名			
ぴ〜ちはうす	6名	6名			
野の花はうす	6名	6名			
サテライト	4名	4名			
合 計)	40名	40名			

以上

I-6 【 就労移行支援センターらぼーる宇城について 】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保等が十分達成され、訓練等給付費収益が当初計画に対し1,136千円増となり、当期活動増減差額は574千円となった。

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営した。

(1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供

① 利用者の人権尊重の徹底

② 利用者本位のサービス提供と質的向上

(2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指す。

(3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指す。

(4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指す。

(5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤める。

3. 利用者実績

(1) 令和3年3月31日現在の利用者登録数は12名(男:9名、女:3名)である。

(2) 就職者

① 就職者数 : 6名(男性3名、女性3名)

② 就職先 : 一般就労・・・5名(IQキッズ、エーブル、サンデリカ、
トライアル、コカ・コーラ)
福祉的就労・・・1名(A型事業所/キラリ)

以上

I-7 【 生活訓練支援センターぷち・らぼーる宇城について 】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、訓練等給付費収益は当初計画に対し、1,136千円減1,136千円減となりましたが、当期活動増減差額は179千円を確保させた。

2. 運営管理

多機能型として、I-6の就労移行支援センターらぼーる宇城と同内容

3. 利用者実績

(1) 令和3年3月31日現在の利用者数は6名(男:2名、女:4名)である。

(2) 就職者は無し

以上

I-8 【就労支援センターあむーるについて】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、当初計画に対し訓練等給付費収益が4,576千円増となり当期活動増減差額は2,658千円を確保できた。

2. 運営管理

多機能型として、I-6の就労移行支援センターらぼーる宇城と同内容

3. 利用者実績

(1) 令和3年3月31日現在の利用者数は25名(男:14名、女:11名)である。

(2) 就職者

① 就職者数 : 4名(男性2名、女性2名)

② 就職先 : 一般就労・・・1名(小川小学校)

福祉的就労・・・3名(A型事業所/なないろ、カドル、めぐみ)

以上

I-9 【就労定着支援らぼーる宇城について】

1. 事業活動状況

2期目を迎え利用実績を伸ばす計画でしたが、未達となり、給付費収益は当初計画対比1,400千円減の4,699千円となったが前年度よりは900千円増となり、当期活動増減差額は112確保できた。

2. 運営管理

I-6の就労移行支援センターらぼーる宇城と同内容

3. 利用者実績

(1) 令和3年3月31日現在の就労後継続している利用者数は13名

以上

I-10 【 就労・生活支援センターらぼーる八代(就労)について 】

1. 事業活動状況

年度当初から、八代地区の全事業所が耐震改修工事完了後のビル内で一体的な運営が出来た。しかしながら、利用者の確保・利用率が計画に大幅に及ばず訓練等給付費が当初計画に対し8,890千円減の14,800千円に留まり、当期活動差額は▲5,330千円となった。

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ① 利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ② 利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和3年3月31日現在の利用者数は14名(男:9名、女:5名)である。
- (2) 就職者
 - ① 就職者数 : 7名(男:5名 女:2名)
 - ② 就職先 : 一般就労・・・5名(VIVAホームイオン八代、エーブル、ホワイトパレス、MEGAドンキホーテ八代、NPO法人シンフォニ)
福祉的就労・・・2名(A型事業所/ながしょう、楓)

以上

I-11 【 就労・生活支援センターらぼーる八代(生活)について 】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保等は当初計画をほぼ達成し、訓練等給付費収益は計画同等の11,320千円となり、当期増減差額は520千円を確保した。

2. 運営管理

多機能型として、I-10の就労・生活支援センターらぼーる八代(就労)と同内容

3. 利用者実績

- (1) 令和3年3月31日現在の利用者数は7名(男:5名、女:2名)である。
- (2) 就職者は無し

以上

I-12 【就労・生活支援センターらぼーる八代(B型)について】

1. 事業活動状況

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保及び利用率が当初計画以上を達成し、訓練等給付費収益は当初計画に対し約1,000千円増の4,150千円となり、当期増減差額は890千円となりました。

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ① 利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ② 利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和3年3月31日現在の利用者数は38名(男:16名、女:22名)である。
- (2) 就職者
 - ① 就職者数 : 2名(男性1名、女性1名)
 - ② 就職先 : 一般就労・・・2名(介護施設、DAISO)

以上

I-13 【不二の里について】

1. 事業活動状況

介護給付費収益は当初計画に約40,00千円遠く及ばない結果となった。理由としては、前年度の課題を解消できず、退職等で従業者確保が困難となり、また派遣職員の確保もままならず、更に入居者の入院による利用率の低下等、複合的な要因で年間を通して16室程度での運営となった。結果、当期増減差額は▲40,045千円の大幅赤字となった。

職員の確保及び定着のため技能実習生を前年度末に3名確保し、更に拡大して従業者の安定確保のひとつとしたい。

2. 運営管理

次の基本理念及び運営方針に基づき入居者にサービスを提供した。

(基本理念)

- (1) 明るく、家庭的な雰囲気での暮らしを提供する。
- (2) 利用者の個性を大切にサービスを提供する。
- (3) 地域に必要とされ愛される施設を目指す。

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。
- (6) いつでも地域の皆様に開放する。

3. サービス体制

管理者	:	全体統括
介護支援専門員	:	ケアプラン等作成
生活相談員	:	生活面の相談・指導
機能訓練指導員	:	機能維持及び低下防止の訓練指導
管理栄養士	:	栄養管理された食事の提供
看護師	:	健康面の支援
介護士	:	生活全般の支援（食事・排泄・娯楽等）
事務職	:	施設全般の総務・人事・経理

以上

I-14 【つまごめ荘について】

1. 事業活動状況

菊池市から移譲後の初年度の運営となり、当初は手探りの状態が続き、コロナ禍の影響もあって、保護者会等の開催も実施できず、計画のみで終わった項目が多かった。

従業者については、菊池市からの職員派遣により、必要な資格者の確保はしておいて、直接雇用者を増やしていき令和3年度からは、30名のうちの半数で充足できるまでになった。不二の里と同様に技能実習生を年度末に5名確保し、今後も増やして一定のベースとしたい。介護給付費収益は 526,966千円であったが、初期の準備費用や放置されていた種々の改修改善工事等や高額な市職員の派遣料の影響もあり、当期活動増減差額は、▲9,553千円となった。

2. 運営管理

次の基本理念及び運営方針に基づき入居者にサービスを提供しました。

(基本理念)

- (1) 明るく、家庭的な雰囲気での暮らしを提供する。
- (2) 利用者の個性を大切にサービスを提供する。
- (3) 地域に必要とされ愛される施設を目指す。

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。
- (6) いつでも地域の皆様に開放する。

3. サービス体制

管理者	:	全体統括
介護支援専門員	:	ケアプラン等作成
生活相談員	:	生活面の相談・指導
機能訓練指導員	:	機能維持及び低下防止の訓練指導
管理栄養士	:	栄養管理された食事の提供
看護師	:	健康面の支援
介護士	:	生活全般の支援（食事・排泄・娯楽等）
事務職	:	施設全般の総務・人事・経理
年度末従業者数	:	正職27名、契約職員44名、技能実習生5名 計76名

以上

I-15 【結(就業)について】

1. 事業活動状況

労働局からの委託で、障害者に対する相談・就業支援を実施した。支援対象者(登録者数)は670人、相談件数は3,032件、就職件数は57件、職場実習等あっせんは32件の実績で、その他種々の計画も含め当初計画は、コロナ禍の状況で実施できないものがあったが、できる範囲はほぼ達成したと判断される。

2. 運営管理

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。

以上

I-16 【結(生活)について】

1. 事業活動状況

熊本県の雇用創生課からの委託で、生活支援を実施した。就業支援のスタッフと協力しながら、生活支援に関連する計画を実施した。当年度は、生活支援員2名を年度当初から配置しての活動が出来た。

2. 運営管理

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。

以上

I-17 【主要行事一覧】

令和2年度に当法人及び事業所が行った主要行事については、次のとおりです。

不二の里の主要行事については別紙参照ください。

月 日	行 事 名	事業所区分					摘 要
		ねん	Gみ	宇城	Gと	八代	
4月	職員会議(らぼーる宇城・八代)			○	○	○	毎月1回
	主任会議(らぼーる宇城・八代)			○	○	○	毎月1回
	ケース会議			○	○	○	毎月2回程度
	利用者セミナー			○		○	毎月1回開催
	職員会議・安全衛生委員会	○	○				毎月1回実施
	Gホームみすみ世話人会議		○				毎月1回実施
	Gホームともに世話人会議				○		毎月各Gホーム1回実施
	利用者全体会議	○					毎月最終金曜日実施
	Gホームみすみ室内外清掃		○				毎月1回実施
	施設協会施設長連絡会						コロナ禍で書面決議
5月	25日 ねんりん避難訓練	○					年2回実施(5、11月)
	27日 らぼーる八代避難訓練			○		○	年2回実施(5、11月)
	施設協会評議員会						コロナ禍で書面決議
6月	8日 平成31年度決算監事監査						岡村・吉永監事/ねんりんにて
	18日 理事会						平成31年度決算報告他/書面決議
	20日 消防点検(消防設備)	○	○				ねんりん、こちょうえん(年2回1回目)
	29日 評議委会						平成31年度決算報告他/書面決議
7月	25日 世話人研修					○	GHともに世話人
	13～16 夏季休暇	○	○	○	○	○	らぼーる等は一部出勤出勤
8月	17日 有機溶剤健診	○					対象者3名(半年1回)
	25・26 健康診断(熊本総合病院)	○	○	○	○	○	健診車、院内にて
9月	14日 実習生受入れ	○					池田さん1週間
	18日 社会保険事務研修						豊田/八代
	18日 環境測定	○					法定検査年2回(1回目)
10月	1日 ストレスチェック実施	○	○				衛生管理面から実施
	1日 全国労働安全衛生週間						
	21日 虐待防止研修会			○	○	○	宇城・八代地区職員
11月	13日 ともに避難訓練				○		GHともに避難訓練
	16日 実習生受け入れ	○					松橋西/1週間
	16日 インフルエンザ予防接種	○	○	○	○	○	ねんりんにて/みすみ病院
	19日 青照館施設見学来工	○					学生5名、先生1名/三角地区
	20日 らぼーる宇城避難訓練			○			年2回実施(5、11月)
	24日 ねんりん避難訓練	○					年2回実施(5、11月)
	26日 らぼーる八代避難訓練					○	年2回実施(5、11月)

月 日	行 事 名	事業所区分					摘 要
		ねん	Gみ	宇城	Gと	八代	
12月	6日	実習生受け入れ	○	○			八代支援1週間
	12日	消防点検(消防設備)	○	○			ねんりん、こちようえん・ぼーる(年2回2回目)
	28日	大掃除/仕事納め	○	○	○	○	工場午前中のみ
	29日	冬季休暇	○	○	○	○	1/3日まで
1月	4日	仕事始め	○	○	○	○	
	9日	新年会	○		○		職員・世話人・利用者/ねんりん・郡浦公民館
2月	8日	臨時理事会					定款変更/らぼーる宇城
	10日	有機溶剤健診	○				対象者3名(半年1回)
	26日	雇用調整金説明会	○				後藤参加/ウイング松橋
	27日	世話人研修会				○	ともに世話人
3月	3日	臨時評議員会書面決議)					定款変更
	11日	定例理事会(らぼーる宇城にて)					令和2年度補正予算、令和3年度事業計画等
	13日	実習生受け入れ	○	○			松橋西支援 1週間
	19日	環境測定	○				法定検査年2回(3月、9月)年2回
	31日	定例評議員会(書面決議)					令和2年度補正予算、令和3年度事業計画等

※ 略称説明

ねん : ねんりん、Gみ : グループホームみすみ、Gと : グループホームともに、らぼ : らぼーる宇城、
ふち・らぼーる宇城、あむーる、八代 : らぼーる八代、不二 : 不二の里

以 上

事業報告書(令和2年度)

(つまごめ荘)

月	日付	行事
4月	16	リーダー会議
	22	職員会議
	27	感染対策委員会
	27	衛生管理委員会
5月	14	介護事故委員会
	21	衛生管理委員会
	21	企画広報委員会
	26	リーダー会議
	27	職員会議
6月	5	洪水時避難訓練
	24	職員会議
	29	感染対策委員会
	29	リーダー会議
	29	衛生管理委員会
7月	17	衛生管理委員会
	17	感染対策委員会
	21	介護事故委員会
	29	職員会議
	30	リーダー会議
8月	7	家族会役員会
	20	企画広報委員会
	25	感染対策委員会
	25	衛生管理委員会
	26	職員会議
	31	リーダー会議
9月	4	家族会役員会
	15	介護事故委員会
	21	敬老祝賀会
	24	衛生管理委員会
	25	職員会議

月	日付	行事
10月	8	リーダー会議
	21	サービス評価委員会
	28	職員会議
	30	感染対策委員会
	30	衛生管理委員会
	23	消防訓練
11月	13	リーダー会議
	24	介護事故委員会
	25	職員会議
	30	衛生管理委員会
12月	22	企画広報委員会
	23	職員会議
	23	衛生管理委員会
	23	感染対策委員会
	25	門松作り
	26	リーダー会議
1月	18	リーダー会議
	19	衛生管理委員会
	27	職員会議
	29	介護事故委員会
2月	16	感染対策委員会
	16	衛生管理委員会
	19	リーダー会議
	24	職員会議
	27	サービス評価委員会
3月	10	家族会役員会
	15	リーダー会議
	24	職員会議
	25	衛生管理委員会
	30	介護事故委員会

事業報告書(令和2年度)

(不二の里)

月	日付	行事
4月	3	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
		身体拘束委員会
		災害対策委員会
	14・28	往診
5月	8	全体会議
		事故対策委員会
	12・26	往診
6月	5	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
	9・23	往診
7月	3	全体会議
		事故対策委員会
		身体拘束委員会
		災害対策委員会
	14・28	往診
8月	7	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
	11・25	往診
9月	4	全体会議
		事故対策委員会
		災害対策委員会
	8・29	往診

月	日付	行事
10月	2	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
		身体拘束委員会
		災害対策委員会
	13・27	往診
11月	6	全体会議
		事故対策委員会
	10・24	往診
12月	1	消防訓練
	4	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
	8・22	往診
1月	8	全体会議
		事故対策委員会
		身体拘束委員会
		災害対策委員会
	12・26	往診
2月	5	全体会議
		事故対策委員会
		褥瘡対策委員会
		感染対策委員会
	2・16	往診
3月	5	全体会議
		事故対策委員会
	9・23	往診
	29	消防訓練

監査報告書

令和3年6月7日

社会福祉法人 東康会
理事長 山田 純策 殿

監事 吉永賢一郎



監事 岡村光洋



私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上